



みなさまこんにちは！10月になりましたね。お着物もいよいよ袷の季節です。とは言え、最近の地球温暖化(よく出るキーワードになってしまいました)により、暑い日もあるので単衣もまだ片づけないでおります。衣替えもまだもう少し先になりそうです。

さて、全国に出されていた緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置も全面解除となり、これから少しずつ、人の動きも変わっていくような気がします。昨年からずっと、着物を着てお出かけするのなかなか厳しい毎日でしたが、少しでも明るい兆しが見えるといううれしくなってしまいますね。

10月28日(木)～30日(土)に、いわき店において『初秋きもの総力祭』を開催いたします。会場はいわき駅前のラトブ6階企画展示ホールとなります。年に一度の店外催事ですので、精一杯のおもてなしをさせていただきます！ぜひ皆様のご来場をお待ちしております！

< 中野光太郎の世界 >

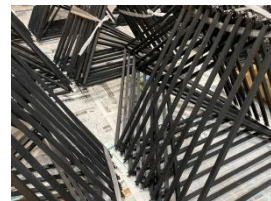
9月9日からゆめはつとで開催した『和装館よろづ屋 初秋きもの総力祭』にて染色作家中野光太郎の世界を開催しました。たくさんのお客様にご来場いただき、本当にありがとうございました。



今回の催事では、オリジナルキモノを全国へ発信している染色作家・中野光太郎さんを招いて開催しました。

中野さんの手作りオブジェを会場に飾り『中野光太郎の世界』を皆さんに味わっていただきました。

この『テトラス』というオブジェは、角材をトラス構造に組み、偏光フィルムを貼った塩ビシートによって構成されています。2週間前に原町店に黒い角材が段ボール4つ分届き、それをせっせと組み立てました。三角形と正四面体をそれぞれに、なんと150個も作り(新妻さんありがとう)会場に運んでから組み立てました。組み立てたパーツの7面にフィルムを貼り(貼る順番も決まっている)さらに中野さんがパーツを組み上げていきました。出来上がったオブジェは、入口付近に設置し、アーチを作ってお客様をお出迎えしました。通りかかったお客様も、キラキラした不思議な物に吸い寄せられ(笑)写真を撮られたりして大変喜んでおりました。会場が万華鏡のような空間になり、とても素敵でした。以前から、中野さんの作品とその人柄が大好きで、皆様にご紹介したいと思っていたので、今回の催事の企画につながりました。中野さんは、当店のインターネットラジオ『よろづ屋プレゼンツ 和のある暮らし つむぐラジオ』にゲスト出演してくださいましたので、お聴きいただければ、中野さんをもっと知っていただけたと思います！もちろん後片付けは大変でした(笑)



いわき店にて店外催事開催！

和装館よろづ屋いわき店 「初秋きもの総力祭」

10月28日(木)～10月30日(土)

会場:いわきラトブ 6階企画展示ホール

※新型コロナウイルス感染防止策を実施いたします。

< よろづ屋 きものがたり～桐生織・桐生絞り～ >

全国の紬や染めの産地のお話や、きものにまつわるあれこれをご紹介しますコーナー
第10回目は、西の西陣、東の桐生

「西の西陣、東の桐生」と伝えられるように、桐生織は1000年以上の歴史があります。桐生の地では昔から織物が盛んで、奈良時代の714年(和銅7年)に「黄あしぎぬ」と呼ばれる織物を納めた記録が残っています。今日のように普及した背景には、上野国山田郡から朝廷へ宮使をした一人の男が、官女の白瀧姫(しらたきひめ)に抱いた恋がきっかけであるという伝説もあります。男の願いが朝廷に届いて白瀧姫と結ばれ、男の故郷である現在の桐生市で暮らすことになると、養蚕や織物の道に通じていた白瀧姫は桐生の人々に織物を伝えました。後に西陣織と肩を並べるほど有名になり、新田義貞や足利尊氏など歴史的な活躍をした武将たちの身の回りにも桐生織の品が使われ、時に献上される品として伝わっていったということです。

桐生織の特徴は、7つの織り方の技法です。技法の種類には、「お召織(おめしおり)」「緯錦織(よこにしきおり)」「経錦織(たてにしきおり)」「風通織(ふうつうおり)」「浮経織(うきたており)」「経緋紋織り(たてかすりもんおり)」「縋り織(もじりおり)」があります。

桐生織に絞りの技法を自由な発想で多数組み合わせ、染め・絞りの三位一体となったのが『桐生絞り』です。絞りの種類も、板締め、巻き上げ、木目、竜巻と多彩で、さらに多色に染め分けたり、後から色を挿すなど、技の組み合わせで作り上げられた作品は唖ってしまうほど素敵です。

桐生絞りの色彩は
斬新かつ繊細！



桐生絞り 絵羽
382,800円(税込)



桐生絞り 九寸帯
203,500円(税込)



桐生絞り 九寸帯
203,500円(税込)



桐生織 八寸帯
198,000円(税込)

体型別、着付けのコツ

ふくよかさん
のっぼさん
おやせさん

着物には、体形の悩みをカバーしてくれるさまざまな知恵が詰まっています。ふくよかでもやせていても、ほんの少しの工夫で美しい着姿になります。

～首が短いのでスッキリ見えません～ 「広衿を少し多めに折りましょう」

衣紋を抜きすぎると、短さが強調されるので、衿を寝かせて喉元を詰めましょう。また、着物の広衿を半分に分るときに少し内側に折り込むと、後ろの衿が低くなる分、首が出て長く見えます。広衿のスナップをずらすか、糸で小さく留めて、広衿を2mm～3mm内側に多めに折るようしてみましょう。



参考文献: 着物の辞典 大久保信子監修



今月のおススメ!

たかはしきもの工房
べっぴん帯板
5,170円(税込)

今回おススメする商品は、またまた登場、たかはしきもの工房オリジナルの「べっぴん帯板 裏技芯棒入りポケット&ベルト付き」です。この帯板、本当にすごいです!! 実際に使ってその良さと、帯周りの着姿の美しさは若女将も大絶賛! その最大の特徴はポケットに隠された「裏ワザ芯棒」。この「裏ワザ芯棒」のお蔭で帯が簡単に、理想的な角度で締められるんです。帯に角度が付くと、単純に見た目がカッコいい。帯位置を下げずに胸元をゆったりと見せ、着姿に窮屈感がない。上半身に適度なボリュームが出るので、加齢などによる下半身のボリュームとバランスが良くなりスッキリ見える。胸が帯に乗るのを防ぐ。帯場などを入れるスペースの確保等々いいことづくしなんです。しかも「裏ワザ芯棒」は取り外し可能で、外せば帯と帯の間に挟みたいとき、喪の時などあまり粋にしたい時にもご使用いただけます。また、適度な柔軟性のあるメッシュ生地を裏地に使用し、さらに消臭と調湿効果を持つ備長炭シートを表地と裏地の間に挟み込んであるので、ムレ知らず! 本当に、目からウロコの驚きの良品です!!

・・・若女将のつぶやき・・・

毎朝楽しみにしているNHK朝ドラ「おかえりモネ」。とうとう今月で最終回を迎えるんですね。モネちゃんが気仙沼に帰ってからのというものの、菅波先生の出番が少なくなり、寂しい思いをしているのは私だけではないはず! でも、タイトルが「おかえりモネ」ですから、やっぱり気仙沼に帰ったのですね～。というわけで、朝ドラつながりというわけではありませんが、行ってきました気仙沼!! 快晴の空に青い海! いいところでした～♪
実はお仕事で行ったので、ゆっくりはできませんでしたが、海鮮丼は食べました(笑)

